



2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 2023年3月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	5,068	58.6	145		205		160	
2022年6月期第2四半期	3,195	11.4	621		781		657	

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 177百万円 (%) 2022年6月期第2四半期 656百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	15.88	
2022年6月期第2四半期	64.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	6,926	701	9.3
2022年6月期	7,381	973	11.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 644百万円 2022年6月期 857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		5.00	5.00
2023年6月期		2.50			
2023年6月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	41.6	160		130	63.5	50	66.9	4.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	10,550,400 株	2022年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	425,823 株	2022年6月期	425,798 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	10,124,599 株	2022年6月期2Q	10,184,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による各種行動制限が緩和され、徐々に経済活動の正常化への動きが見られましたが、その影響は未だに続いております。またウクライナ情勢やコロナ禍に起因する急激な円安による原材料・原油価格等の物価高騰が続いており、未だに収束の兆しが見えないことから、先行き不透明な状況が続いております。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大防止の重要な施策である、新型コロナワクチンの複数回接種が本格化すると共に国際的な水際対策の緩和など、ポストコロナに向けて経済正常化の動きが加速していくものと考えられます。

当飲食業界におきましても、経営環境は厳しいものとなりましたが、当社グループは飲食事業において、以下の通り新規6店舗をオープンいたしました。

いしがまやハンバーグ業態では、2022年8月、愛知県名古屋市の商業施設「mozo ワンダーシティ」内にて、フードコートスタイル初出店となる「ハンバーグ&ステーキ いしがま工房」、2022年11月、大阪府堺市の商業施設「ららぽーと堺」内にて、関西2号店となる「いしがまやハンバーグ ららぽーと堺」の2店舗をオープンいたしました。石窯で焼き上げる肉の旨味がたっぷり詰まった究極のハンバーグと厳選されたこだわり牛のステーキをご堪能いただけます。

VEGEGO業態では、2022年11月、大阪府堺市の商業施設「ららぽーと堺」内にて、関西2号店となる「VEGEGOオヌレシクタン&cafeららぽーと堺」、千葉県柏市の商業施設「セブンパークアリオ柏」内にて、「VEGEGOオヌレシクタン&cafeセブンパークアリオ柏」、愛知県春日井市の商業施設「イーアス春日井」内にて、VEGEGO業態の中部地方初出店となる「VEGEGOオヌレシクタン&cafeイーアス春日井」の3店舗をオープンいたしました。店名のオヌレシクタンは今日の献立という意味があり、韓国ではもちろん日本でも人気のある石焼ビビンバ・純豆腐・参鶏湯・チヂミ・カルビ・プデチゲなどをメインとする定食スタイルの豊富なメニューを取り揃えており、何度来ても違った味をお楽しみいただけます。

焼き肉業態では2022年11月、東京都昭島市にて焼き肉業態の2号店、当社ロードサイド店舗として初出店となる「肉の満牛萬 昭島」をオープンいたしました。肉の満牛萬は都市部立地と郊外ロードサイド立地の双方で展開可能な業態に育てていくことを目標として、郊外ロードサイドで市場を拓ける他の焼肉食べ放題ブランドとは一線を画したお客様満足を生み出し、焼肉屋の新たなスタンダードを確立してまいります。

プラットフォームシェアリング事業については、外食企業向けの更なるプラットフォーム強化を進めると共に、異業種のブランドホルダーに対する出店支援コンサルティング業務の提供も増加しており、今後につきましても、あらゆる可能性を模索しながら、事業の拡大に努めたいと考えております。

フランチャイズ事業については、ハンバーグ業態にて、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、5,068百万円（前年同期比58.6%増）、営業損失145百万円（前年同期は営業損失621百万円）、経常損失205百万円（前年同期は経常利益781百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失160百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益657百万円）となりました。

なお、当社グループはセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,926百万円となり、前連結会計年度末と比較して454百万円減少しております。

流動資産合計は4,313百万円となり、前連結会計年度末と比較して731百万円減少しております。減少の主な要因は、現金及び預金が697百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は2,613百万円となり、前連結会計年度末と比較して277百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が232百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は6,225百万円となり、前連結会計年度末と比較して182百万円減少しております。

流動負債合計は1,909百万円となり、前連結会計年度末と比較して171百万円増加しております。増加の主な要因は買掛金が84百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は4,315百万円となり、前連結会計年度末と比較して354百万円減少しております。減少の主な要因は長期借入金が335百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は701百万円となり、前連結会計年度末と比較して272百万円減少しております。減少の主な要因は、利益剰余金が211百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年8月12日公表の「2022年6月期決算短信」に記載のとおり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,561,364	2,864,337
売掛金	257,342	406,205
原材料及び貯蔵品	89,429	107,943
未収入金	233,433	66,554
その他	903,448	868,104
流動資産合計	5,045,018	4,313,145
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	816,625	975,315
その他（純額）	133,813	207,282
有形固定資産合計	950,438	1,182,598
無形固定資産		
のれん	63,636	61,810
その他	102,911	111,651
無形固定資産合計	166,547	173,461
投資その他の資産		
投資有価証券	77,405	97,405
差入保証金	839,101	866,717
繰延税金資産	302,080	290,967
その他	2,029	3,510
貸倒引当金	△845	△837
投資その他の資産合計	1,219,771	1,257,764
固定資産合計	2,336,758	2,613,824
資産合計	7,381,776	6,926,969
負債の部		
流動負債		
買掛金	249,740	334,414
1年内返済予定の長期借入金	678,564	678,564
未払法人税等	43,365	23,124
株主優待引当金	—	10,022
その他	766,196	863,076
流動負債合計	1,737,866	1,909,202
固定負債		
長期借入金	4,453,155	4,117,206
資産除去債務	67,353	68,545
その他	149,405	130,160
固定負債合計	4,669,913	4,315,911
負債合計	6,407,780	6,225,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,530	381,530
資本剰余金	495,518	495,518
利益剰余金	145,919	△65,519
自己株式	△170,204	△170,218
株主資本合計	852,764	641,310
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,662	2,732
その他の包括利益累計額合計	4,662	2,732
新株予約権	77,865	33,798
非支配株主持分	38,704	24,014
純資産合計	973,996	701,855
負債純資産合計	7,381,776	6,926,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,195,810	5,068,504
売上原価	964,347	1,430,945
売上総利益	2,231,462	3,637,558
販売費及び一般管理費	2,852,821	3,782,745
営業損失(△)	△621,358	△145,186
営業外収益		
受取利息	1,007	357
助成金収入	1,055,227	60,731
暗号資産評価益	369,426	—
その他	3,113	4,655
営業外収益合計	1,428,774	65,744
営業外費用		
支払利息	12,695	10,644
支払手数料	726	740
暗号資産評価損	11,409	105,624
その他	608	9,350
営業外費用合計	25,439	126,360
経常利益又は経常損失(△)	781,975	△205,802
特別利益		
新株予約権戻入益	—	47,515
助成金収入	479,209	12,432
特別利益合計	479,209	59,947
特別損失		
店舗臨時休業による損失	244,456	—
特別損失合計	244,456	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,016,728	△145,855
法人税、住民税及び事業税	41,390	19,718
法人税等調整額	320,413	11,112
法人税等合計	361,803	30,831
四半期純利益又は四半期純損失(△)	654,924	△176,687
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,876	△15,871
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	657,800	△160,815

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	654,924	△176,687
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,893	△748
その他の包括利益合計	1,893	△748
四半期包括利益	656,818	△177,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	659,018	△162,745
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,200	△14,689

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,016,728	△145,855
減価償却費	92,031	77,836
のれん償却額	2,031	8,190
長期前払費用償却額	4,073	859
株式報酬費用	3,217	3,447
暗号資産評価益	△369,426	—
暗号資産評価損	11,409	105,624
助成金収入	△1,534,437	△73,163
新株予約権戻入益	—	△47,515
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18	△8
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△5,111	10,022
受取利息	△1,007	△357
支払利息	12,695	10,644
売上債権の増減額(△は増加)	△182,097	△148,862
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,840	△18,252
立替金の増減額(△は増加)	18,364	14,012
仕入債務の増減額(△は減少)	179,572	84,279
未払金の増減額(△は減少)	56,680	48,626
未払費用の増減額(△は減少)	80,873	50,915
前受収益の増減額(△は減少)	△921	△5,517
長期前受収益の増減額(△は減少)	△14,505	△19,429
前受金の増減額(△は減少)	△2,279	1,578
預け金の増減額(△は増加)	△135,341	△94,606
預り金の増減額(△は減少)	△4,496	△102
その他	83,098	47,277
小計	△706,670	△90,355
利息の受取額	1,007	357
利息の支払額	△12,699	△6,930
法人税等の支払額	△29,484	△38,457
助成金の受取額	1,305,347	214,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	557,500	78,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△268,788	△311,734
無形固定資産の取得による支出	△25,282	△25,480
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△20,000
資産除去債務の履行による支出	—	△3,338
差入保証金の差入による支出	△56,199	△33,053
差入保証金の回収による収入	36,524	595
長期前払費用の取得による支出	—	△2,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323,745	△395,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41,665	—
長期借入金の返済による支出	△345,429	△335,949
自己株式の取得による支出	△56,434	△14
配当金の支払額	△508	△50,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444,036	△386,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,005	5,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△208,276	△697,027
現金及び現金同等物の期首残高	4,236,641	3,561,364
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,028,364	2,864,336

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは「飲食事業」「プラットフォームシェアリング事業」及び「フランチャイズ事業」を行っております。当社グループの報告セグメントは「飲食事業」のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書（重要な会計上の見積り）に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。